

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

20
YEARS
MUZA KAWASAKI
SYMPHONY HALL

ほぼ 日刊サマーミュージック



Hobo Nikkan Summer Muza

情熱と芯の強さを感じさせる 重厚なブラームス



8/4 NHK交響楽団

©T.Tairadate

今年のフェスタサマーミュージック KAWASAKIのN響公演のタイトルは「沼尻竜典&N響のザ・ブラームス」。ヴァイオリン協奏曲とシェーンベルク編曲版のピアノ四重奏曲という重厚なブラームス・プロがいかにもN響にふさわしく、沼尻の熟練のタクトのもと、きわめて聴き応えのある演奏会となった。

前半のヴァイオリン協奏曲のソリストは沼尻と同世代の戸田弥生。第1楽章のソロの入りから情熱と芯の強さを感じさせる一方、全体をとおして細やかな陰影に富み、その濃密な表現には大家の風格が漂う。第1楽章のカデンツァ部分にはレーガの無伴奏曲を挿入して鮮やかな

技巧を披露したのも特筆されよう。沼尻&N響もどっしりした重量感ある響きで彼女のソロと一体化し、ブラームスらしいシンフォニックな世界を作り出していた。

とかく若手の人気演奏家ばかりに目を向けがちの最近の傾向の中で、戸田のようなベテランの実力派ソリストの起用は嬉しい限りだ。

後半のピアノ四重奏曲管弦楽版はまさに沼尻の独擅場。編成が大きくスコアも複雑で、得てしてうるさいばかりの演奏になりがちなこのシェーンベルクの編曲版を、沼尻は見事な手さばきで解きほぐし、音の綾を明瞭に浮き立たせながら、起伏に富

んだ音楽を生み出していく。シェーンベルクの鮮烈なオーケストレーションを際立たせつつ、その中でブラームスの原曲の重厚なロマン性を失うことがない点がすばらしく、彼の棒に込めるN響の技量の高さと相俟って、稀に見る名演に結実。とりわけ緩急のメリハリをつけて表情の変化を浮き彫りにした終楽章は圧巻だった。

(音楽評論家・寺西基之)



プロコンサートの様子



指揮：沼尻竜典 ヴァイオリン：戸田弥生
コンサートマスター：郷古 廉

ご来場者の声

「沼尻竜典&N響のザ・ブラームス」と銘打たれたコンサートだったが、キャッチコピーに偽りはなく、この夏一番のブラームスプログラムだったと思う。(60代・無職・みねあ) / 情熱的なブラームスを、堪能しました。ヴァイオリン協奏曲という、独奏者のテクニック披露に目がいてしまいましたが、パンフレットにあった「独奏者とオーケストラの協奏」という点にはなるほど！その点を中心に楽しめました。(50代・主婦・かんみ) / 素晴らしいのひとつ。圧巻でした。ストリングスの奏でる音圧に感動しました。本番前のミニコンサート「コントラバス四重奏のためのソナタ」もなかなか聴けない演奏で、感激しました。(60代・会社員・まちけん) / 大好きなブラームスプログラム。急遽都合がついて、当日予約しました。直前にも予約できてよかったです。ヴァイオリン協奏曲も素晴らしいかったです。シェーンベルクによる管弦楽版ピアノ四重奏曲は、初めて聴きました。オリジナルとはまるで違う色彩鮮やかな曲になっていて、面白かったです。これはルイーダさんのタクトでも聴いてみたくなりました。(40代・主婦・Rose)

【明日の日報お休みです】 明日(8/6)は休演日のため、本誌の発行もお休みさせていただきます。次号発行は8/7です。

フェスタサマーミュージック KAWASAKI 2024 明後日の公演情報

昭和音楽大学

若さ溢れる音楽家たちが祝う、ブルックナー生誕200周年

ミュージア川崎シンフォニーホール

8.7 (水) 18:30開演

モーツァルト：交響曲第35番『ハフナー』

ブルックナー：交響曲第7番(ノヴァーク版)

全席指定 ¥1,800

TEL・WEB予約：当日16:30まで
当日券カウンター17:30より

プログラムはWebでもご覧いただけます



指揮：梅田俊明



あなたもほぼ日刊サマーミュージックデビュー?!

公演アンケートに書いたあなたの感想が掲載されるかも？
さらに、Webでご回答の方全員にサマーミュージック特製壁紙をプレゼント！
会場で配布のアンケート用紙、もしくは公式サイトからどうぞ。



全公演こちらからご回答いただけます



ミュージック公式
YouTubeチャンネル



チャンネル登録
よろしくお願ひします

華やかなオルガンを 120%活かした 若き巨匠!

8/3 真夏のバッハIX 変容するバッハ

© N.Ikegami

ニ ユーザのオルガンには華がある。バロック以前の作品に適した端正な響きから後期ロマン派特有の轟のかかった音響まで、どの音色もヴィヴィッドで華やかだ。

かつてバッハが奉職したライプツィヒの聖トーマス教会でオルガニストとして活躍するヨハネス・ラングは、このオルガンの「華」を見事に引き出した。

プログラムの粹組みとなったのは、バッハの《クラヴィア練習曲集》第3巻。作品集の最初と最後に登場する BWV522の前奏曲とフーガをプログラムの最初と最後に置き、第3巻の核であるオルガン・コラールを6曲、合間にシューマンやレーガーのバッハへのオマージュ作品、バッハの師や弟子などの作品が挟まれる。凝った構成だが、ラング自身の「バッハへのオマージュ」ではないかと思えた。このような並びだと、バッハのオルガン・コラールでコラールが定旋律となるように、シューマンやレーガー作品に出てくる「BACH」音型もより定旋律のように聴こえてくるのだ。

ラングの強みは超絶技巧と即興、「歌」、そしてプリンシパル系のパイプを好む華やかな響きにあるように思う。冒頭の BWV 552の前奏曲から、飛び立つような下降スケールの装飾が耳につく。頂点は17世紀の作曲家シュタイグラーの《主の祈り》。変奏が呼び覚ます超絶技巧に、明るくプリリアンな音色が重ねられた。アンコールはラング自身の即興演奏で、ストップを次々と開いて多彩な音色を満喫させてくれた。

カーテンコールでラングはミュゼのオルガンを讃えるそぶりをしていたが、その楽器が本領を発揮できたのは、若き天才騎手の巧みな手綱さばきがあったからだった。

〔追記：前半は舞台上に置かれた移動式演奏台(コンソール)が使用されたが、これは移動式コンソールにしかないカプラー機能(編注：複数の鍵盤を同時に鳴らす機能)の使用と、前半に演奏されたレーガーの響きを味わって演奏することが目的のことだった。〕
(音楽物書き・加藤浩子)



パイプオルガン：ヨハネス・ラング
(お客様から似ているといわれたマラーと共に)

ご来場者の声

MUZAにいることを忘れてしまった。オルガンの音に包まれ幸せな時間でした。Langさんまた来て下さい。(60代・会社員・やっぱりMUZA最高) / 恐るべしフェスタサマー・ミュゼ! (中略)ラング氏はバッハの活躍した聖トーマス教会のオルガニストであり、まさにオルガンの天才、鬼才だった。音色もオルガンを使い倒して多彩な音色で息を飲むようなダイナミックな演奏だった。アンコールの自作即興曲にもオルガン捌きを含めて驚愕した。(中略)しかし特筆すべきは深い感動の中、演奏終了後の長い静寂を暴力的に破るような拍手なしに感動を共有してくれた聴き手に多大な感謝を贈りたい。(60代・無職・snakam55) / バッハ自身の音楽そのものや、他の作曲家の楽曲との繋がりを通して、作曲家バッハの多面的な素晴らしさや奥深さを改めて実感した。このように感じたのはヨハネス・ラング氏のプログラミングや演奏が本当に素晴らしかったからだと思う。(60代・無職・Mido)

「本場台湾と変わらない美味しさ」



パートナーショップのご紹介
エンジョイ!
川崎!!
Enjoy Kawasaki



小籠包
(4個で680円)

鼎泰豊は1972年台湾台北市で小籠包をはじめとする点心料理屋として販売を始めました。実は私…鼎泰豊ラゾーナ川崎店に何う前日まで台湾におりまして、本場の鼎泰豊台北101店とラゾーナ川崎店の贅沢食べ比べをさせていただきました。作り置きを一切せず注文を受けてから作られる出来立ての小籠包は、まずレンゲの上で少し皮を破りしっかり味の付いたスープを飲んでから、スープのしみ込んだタネともちもち皮をいただきます。本当に絶品です!火傷してしまうので一口でパクッといかないように気を付けてくださいね!

そして、デザートには台湾でも大人気のミルク味のかき氷にマンゴーが乗った「マンゴピン」をいただきました。

ミルク味の氷が優しい味でなんとも懐かしく、大きいマンゴーを食べて贅沢気分も味わえて、日本の夏って良いな〜と改めて感じさせられます。

本場と変わらない美味しさで、川崎でも台湾を感じられるなら何度も通ってしまいそうです! (受付)



ラゾーナ川崎プラザ

パートナーショップ特典

ワンドリンクサービス
(ソフトドリンク)

※「優待券」持参者のみ



マンゴピン
(800円)

フェスタサマー・ミュゼ公式サイト
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>

#サマー・ミュゼ
#ミュゼ20周年
で検索&投稿
お待ちしております!



X: @summer_muza

Facebook: @kawasaki.sym.hall

Instagram: @muzakawasaki

YouTube: @kawasakisymhall



スタツフ日誌
今年の4月からスタツフ仲間に加わった、ミュージカルシンフォニーホールも、クラシックも1年目の新人です!
私自身も楽しみにしていた、フェスタサマー・ミュゼがはじまっています。川崎市民になって間もなく2年になり、まさかミュージカルシンフォニーホールの一員になれるなんて…人生ではじめて、音楽ホールの運営に携わらせていただいて、驚くことばかりです! 駅前のビルの中に、約2000席もあるホールがあるなんて…そして何より、出演者と客席との距離! 演奏中の出演者の表情まで楽しめます。
そして、煌びやかな公演の裏側は、たくさんの人や設備、役割で成り立っていることも知りました。綿密なすり合わせや打合せを重ね、皆様に楽しんでいただけるよう、日々動き回っています。
フェスタサマー・ミュゼは、ミュージザの中でも特別大きなイベントです! ぜひ最後まで楽しんでくださいね!
(ミュージックズも絶賛販売中☆管理・た)